

令和3年度

学校評価アンケートのまとめと考察



佐久市立切原小学校

保護者 様

佐久市立切原小学校

令和3年度 学校評価まとめ

新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いております。保護者の皆様には日頃より本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年12月に保護者の皆様、児童、教職員を対象に学校評価アンケートを実施いたしました。その結果と考察、今後の方向をまとめてご報告いたします。

I 本年度の重点目標

- 1 やりぬく子 健康で安全な学校生活 《切原の宝をみがこう あいさつ・マラソン・くつそろえ》
- 2 進んで学ぶ子 主体的な学び
- 3 心豊かな子 自分も相手も大切にする学級づくり
- 4 家庭や地域社会との連携や交流

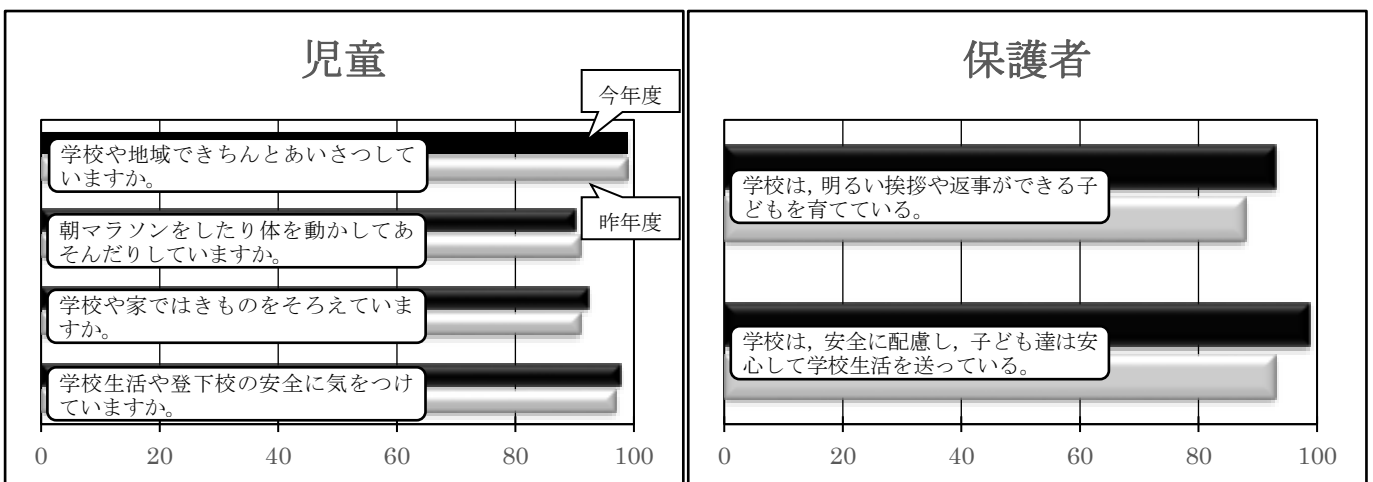
II 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、選択肢の回答を「A；そう思う B；どちらかというと思う C；どちらかというと思わない D；そう思わない」の4段階（※新型コロナウイルス感染防止対応で分からない場合はE；わからない・評価なし）としました。そして、A・Bを肯定的、C・D・(E)を否定的ととらえて、全体に占める肯定的なA・Bの割合を肯定率（%）としてグラフ化し、昨年度と比較しました。（**上が今年度、下が昨年度**）

アンケート回収率：児童 100% 保護者 94.7% 教職員 100%

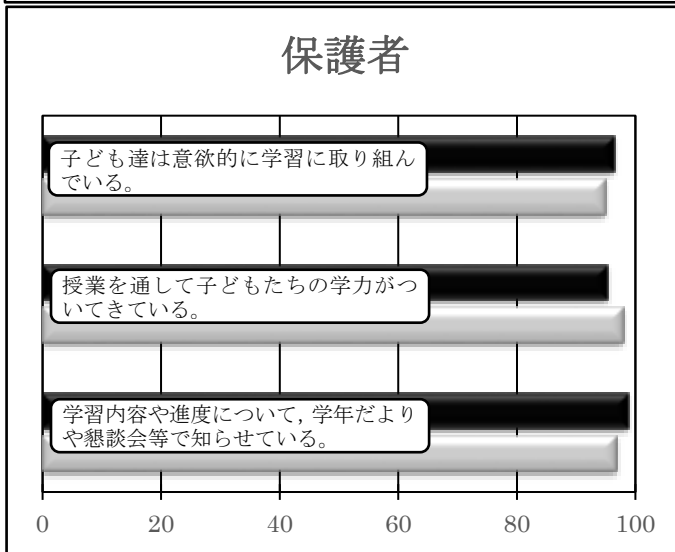
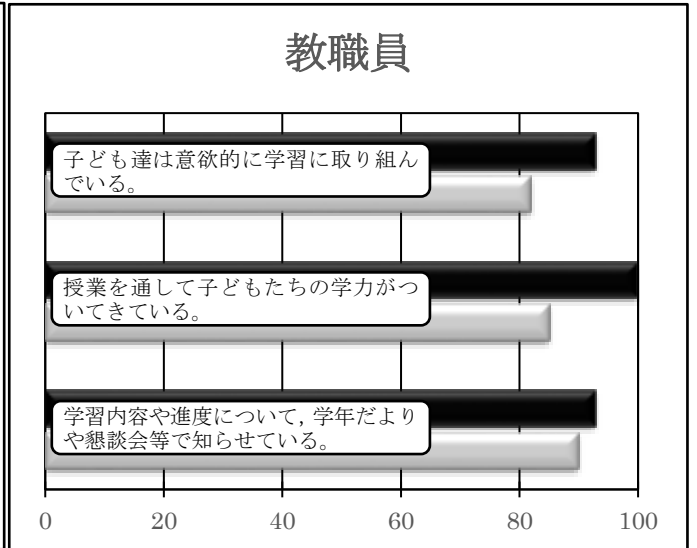
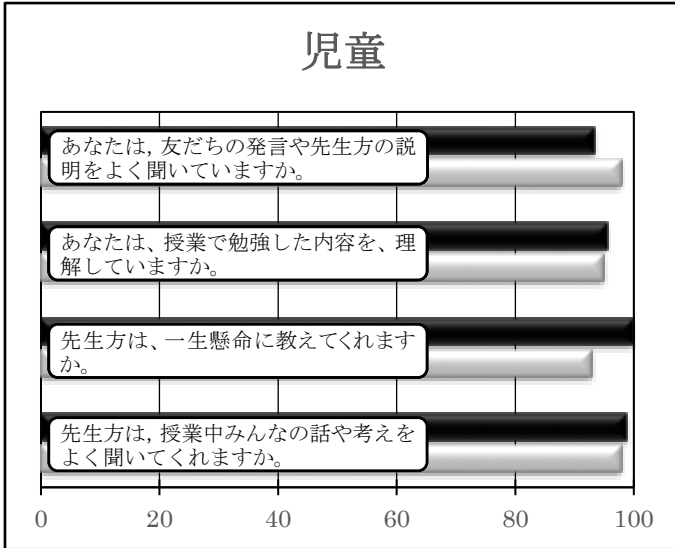
III 結果と考察

- 1 やりぬく子 健康で安全な学校生活について 《切原の宝をみがこう あいさつ・マラソン・くつそろえ》



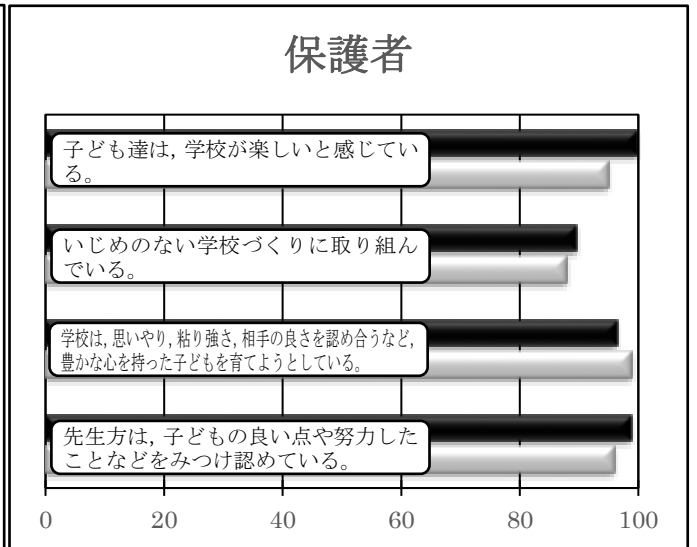
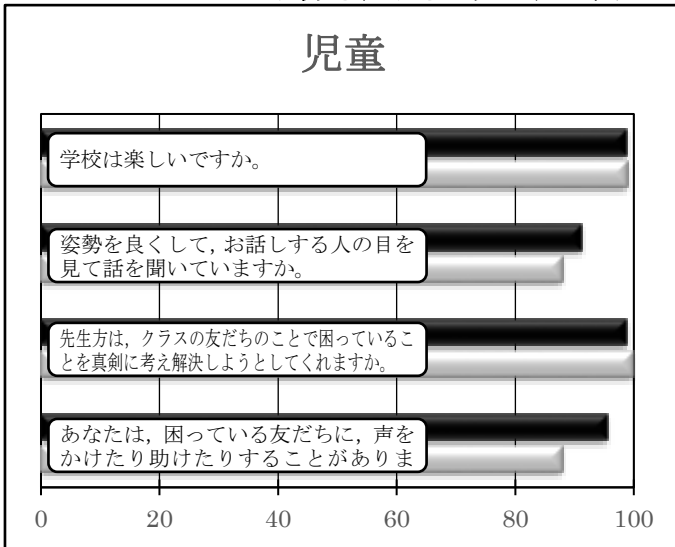
考察：切原小の宝である「あいさつ・マラソン・くつそろえ」において、「あいさつ」について児童の評価は昨年同様高評価であり、保護者評価も向上してきた。マスク着用が日常となり互いの表情が捉えにくくなっている現状の中、今後もあいさつから始まるコミュニケーションを重要視し、はきはきた声や会釈なども意識したい。「マラソン」への取り組みは個人差がある。主体的に関われる具体的な工夫を考えていきたい。学校生活や登下校の安全については、職員の見回りをはじめ、地域ボランティアの皆様のご協力もあって高い評価となっている。今後も安全な学校生活を送れるよう常に気を配っていきたい。

2 進んで学ぶ子 確かな学力に向けた授業改善について



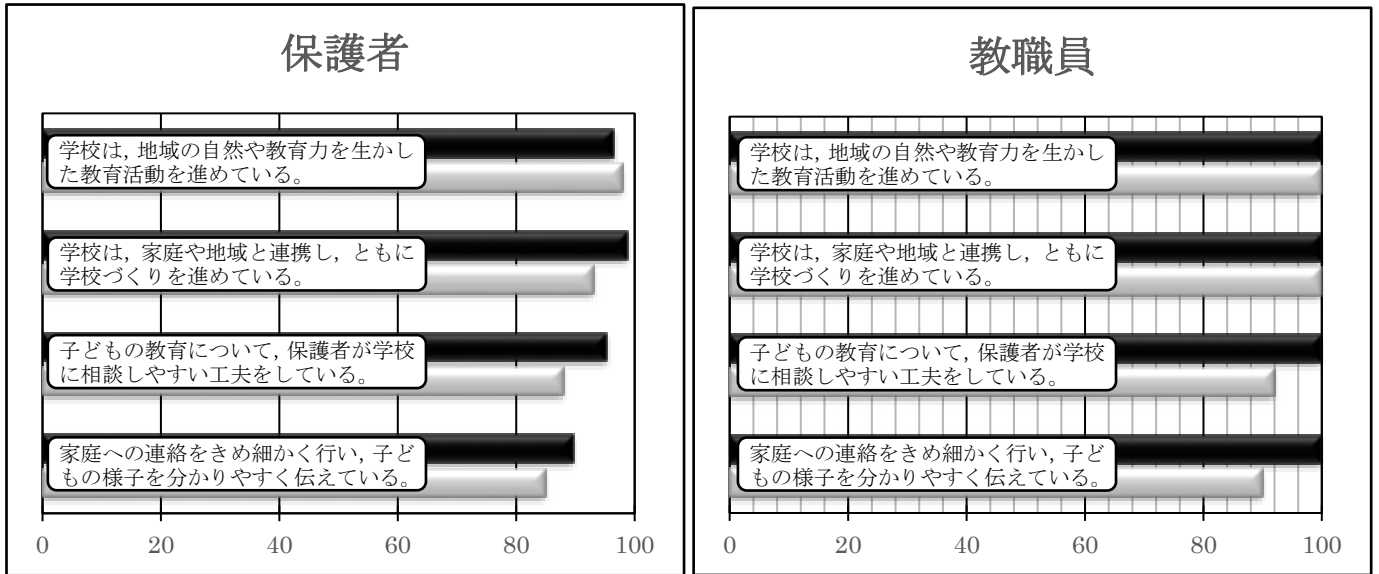
考察：児童・保護者・教職員の三者とも、学力向上に関する全項目を9割以上の高い肯定率であった。しかし、児童の「友だちの発言や先生方の説明をよく聞いている(-4%)」、保護者の「授業を通して学力がついてきている(-2%)」と昨年より肯定率が僅かに下がったことは真摯に受け止め、今後も授業改善に努める必要性はある。また、教職員の肯定率が向上については、昨年は休校による学習の遅れ取り戻そうとするあまり分かる授業に対する手応えが感じきれなかったことが関係していると思われる。今後も、児童が学習の楽しさと自身の成長が実感できるように、きめ細かな指導と授業改善を重ね、学習意欲を高めながら学力向上につなげていきたい。

3 心豊かな子 自分も相手も大切に学ぶ級づくりについて



考察：児童においては、昨年度と同様に9割以上の児童が学校は楽しいと感じているとともに、多く項目において、昨年度に比べるとその割合は増えている。保護者においては、昨年度より若干「豊かな心を持った子どもを育てようとしている(-2%)」に対する評価が低くなった。全体的には、児童も保護者も重点目標「心豊かな子」については、評価は高くなっている。しかし、コロナ禍によって、心と心の距離まで遠ざけられないような取り組みが今後も必要である。引き続き、教師が先立って児童のよさを評価することをして、互いに認め合う教育活動を進め、児童にも保護者にも分かりやすく伝える工夫をしていきたい。

4 家庭や地域社会との連携や交流について



考察：どの項目も8割以上の評価であるとともに、保護者の「地域の自然や教育力を生かした教育活動を進めている(-1.4%)」以外は、昨年度に比べると高くなっている。コロナ禍における生活様式の変化において、児童の学校生活や学力保障等への対応に、保護者の皆様もたいへんご心配の中、寛容にご理解いただいているという現れだと考えられる。こうした評価に応えるように、今後も、学校生活の様子について保護者の皆様に丁寧知らせていくとともに、児童や保護者の皆様の思いに寄り添いながら、情報をより発信し、相談しやすい学校づくりをめざしていきたい。

IV 保護者の皆様から

アンケートのなかで保護者の皆様から貴重なご意見、励ましの言葉をいただきました。今後の参考にさせていただきます。そのなかのいくつかをご紹介します。

- ・今年はずいぶん行事が行えてよかったです。特にふれあい交流会では、地域の方が先生となって子どもたちと触れ合うことができ、大人も子どもも一緒に楽しむ姿が印象的でした。このような行事が続いていくと良いと思います。
- ・少人数での良い点をもっと伸ばしてほしいです。
- ・地域の人へ進んで挨拶をしてほしいです。
- ・聞く力 話す力がない子にもっと親身に教えてください。
- ・統合に向けて、子どもが新しい環境でもやっていかれるように、心と体の準備をお願いできればと思います。
- ・切原小学校は学年問わず仲良く思いやりのある生徒さん達だと思います。地域の方々にも見守って頂きながら安心安全も保っていると思います。先生の授業もとても分かりやすく子供一人一人の個性を大事にしながら教育をしてくださっており、感謝の言葉しかございません。

V まとめと今後の方向

今年度も重点目標として取り組んできた活動について、どの項目についても80%以上の肯定率で、高い評価をいただきました。切原小の特徴である地域の自然や環境を活かした取り組みは、コロナ禍で実施できなかった取り組みもありましたが、来年度の閉校までは継続し、家庭や地域の皆様との連携を深めたいと思います。

95%以上の児童が学校は楽しいと感じています。学校として安堵してしましますが、これに満足せず、そうでない児童にも目を向け、主体的対話的で深い学びをめざした授業改善や個々の児童へのきめ細かな指導に取り組み、確かな学力の定着を図っていきます。

また、コロナ禍にあっても感染対策を万全にしながら、豊かな自然環境と少人数の集団の良さを生かし、できるだけ学年の枠を越えた交流や地域の自然や教育力を生かした教育活動などの機会を増やしていきたいと思います。更に今後も、児童が自身の成長を実感できるような取り組みや評価を重ね、その様子を保護者に伝えながら家庭との連絡を密に取り合い、相談しやすい学校づくりを進めていきたいです。来年度も、保護者、地域の皆様とともに児童が安全に安心して学べる学校をめざしていきます。皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。